



医師の紹介

消化器外科 低浸襲内視鏡外科治療副センター長
水上 博喜 《みずかみ ひろき》



はじめまして、水上博喜（みずかみ ひろき）といたします。

2018年3月から横浜鶴ヶ峰病院に勤務させていただいています。

主な勤務内容は、胃癌や大腸癌などの悪性疾患や、胆嚢結石、胆嚢ポリープ、急性虫垂炎、鼠径ヘルニアなどの良性疾患の腹腔鏡手術および、開腹手術を担当しています。また、胃や大腸などの消化管内視鏡検査も行っています。大学病院勤務時代は、肝臓癌、胆道癌、膵臓癌などの手術も担当していました。おなかのご状態を幅広く診察することができると考えております。

患者さまのなかには、“みぞおちがむかむかする”、“健康診断で、便に血が混じっている”、“胆嚢に石やポリープあると言われた”、“ふとももの付け根が膨らんで、痛い”など、このまま、ほっといてよいのか、どこに相談したらよいか、大学病院に行くのは気が引けるなど、不安に思われている方がいらっしゃるかもしれません。そんな時は、当院外科外来の受診をご検討ください。経過観察が可能なのか、また、内視鏡検査やCTなどの精密検査を行い、迅速に治療方針を決定して、治療を開始いたします。手術が必要と判断した患者さまは、初診後約2-3週間には、入院可能です。複数科の治療が必要なご病態の場合は、近隣の神奈川県立がんセンターや聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院等と連携し、適切な治療を受けられるように準備いたします。

当科の腹腔鏡下手術は、前昭和大学藤が丘病院消化器一・般外科教授の田中淳一先生を中心に、安心、安全を心掛けた治療に当たっています。腹腔鏡下胆嚢摘出術では、一部に約3mmの細い手術機器を用いて、美容面にも配慮しています。

また、手術適応のある患者さまのみではなく、“昔、おなかのがんの手術をして、5年たったら、病院に行かなくなり、心配になってきた”、“自宅で療養しているが、食事がとれなくなってきた”など、おなかのことで気軽に相談できる場所を目指し、さらに入院施設がある特長も活かして、近隣地域の医療に貢献したいと思います。

至らない点があると思いますが、何卒、よろしく願いいたします。

お困りの際は、なんでもご相談ください。

介護療養型医療施設のご案内

空床状況 5月現在 空床0
待機待ち5名 面談終了返事待ち
2名 面談待ち3名

今月のお知らせ

消化器内科	休診中
血液内科	木曜日午後 非常勤医師 石山(泰史)
皮膚科	木曜日 非常勤医師 坂本医師 終了 影嶋医師となります。

健康増進セミナー報告

月 日 3月22日(金曜日)

時 間 13時30分から

講 師 石山院長

演 題 第5回 健康増進セミナー

『最高の体調を維持するために』 「～狩猟採取時代を振り返る～」



今回で5回目となります健康増進セミナーは、50名を超える皆さまにご参加いただきました。当院には講演スペースがないので、簡易的に準備した外来ホールの一角を借りて（地域医療連携室前）おこなっています。講演は医師のみならず、看護師、薬剤師など、さまざまな分野の講演を予定しております。玄関に近いところですので、ご来院された方もお気軽にお立ち寄りください。

当院では胃瘻造設・交換をお受けしています。

当院の胃瘻造設、交換までの流れ

- ① 地域連携室に依頼
- ② 家族前受診を決定(毎週水曜日 午前のみ)
- ③ 受診時に同意書、増設、交換日を決定します。
- ④ 増設、交換日に来院

※増設は3-4日程度の入院が必要です。

※他にTPN、CVポートもお気軽にご相談ください。



編集後記／池住

大型連休に突入しました。寒い季節からようやく新緑の季節となりました。木々の緑はとてもきれいですね。そして5月5日は立夏。暦の上では早くも夏を迎えます。本格的な夏はまだ先のことですが、今年もまたあの連日異常な30℃越えが襲ってくるのかと思うと(ノド)シクシク…。いやいや、そんなことは言っていただけませんね。熱中症対策グッズは冷却、水分補給、保冷グッズ、塩分補給などたくさんありますが、品薄になる前に今から準備しておくことも必要です。皆さんも早めの準備はいかがですか。